

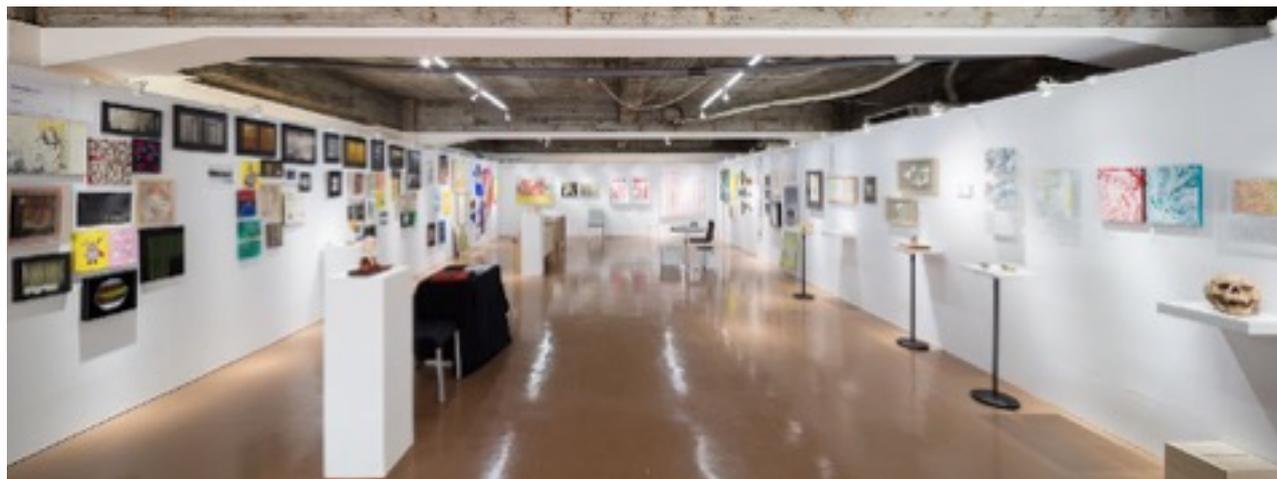
報道関係各位

ART OSAKA WALL by APCA クロージングレポート

ART OSAKA WALL by APCA

ART OSAKA 初のスピノフ企画、好評の内に閉幕！

入場者数：580名 / 売上総額：2700万円



4階の展示風景：左から 芦屋画廊kyoto、Gallery OUT of PLACE、COHJU contemporary art、KAZE ART PLANNING、モトヤマイケウチ

大阪・曾根崎にある山川ビルの空きフロアを舞台に2020年12月18日(金)-20日(日) [17日(木)はプレビュー]の期間、「ART OSAKA WALL by APCA」が開催され、無事に閉幕致しました。

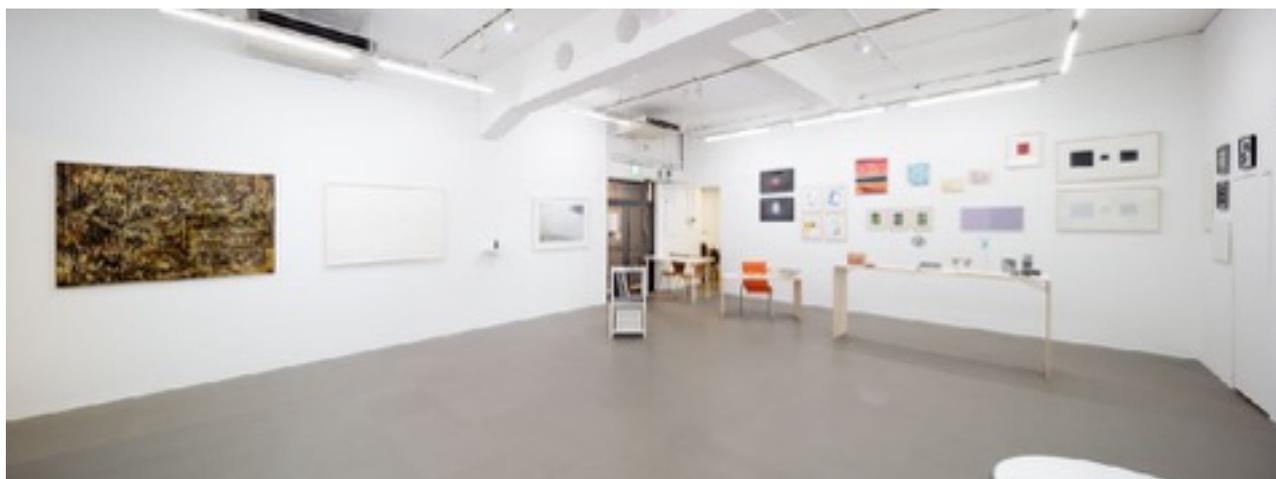
本フェアは、新型コロナウイルスの影響で開催中止となったホテル型アートフェア「ART OSAKA」の今回限りのスピノフ企画。「ART OSAKA」は現在進行中の国内のアートフェアのなかで最も長い歴史を持ちますが、平場で開催するアートフェアは2006年のART in CASO以来、14年ぶりのことで、大きな挑戦となりました。

また、ブースをコの字型で区切るのではなく、壁面の長さに応じて区切り、各ギャラリーの個性が融合したスペシャルな空間となったことも、従来のフェアにはない、「ART OSAKA WALL by APCA」ならではの魅力をお届けすることができました。

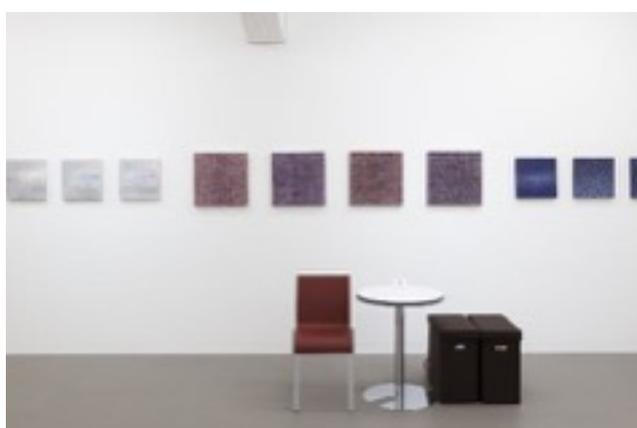
今回、結果的にコロナ第3波の渦中でのフェア開催となりましたが、事前予約制かつ人数制限の元、当日会場内では来場者や出展者らに対して検温や手指消毒、大阪府コロナ追跡システムへの登録等、徹底した感染症対策を実施し、無事に終幕を迎えられましたこと、運営一同安堵しております。

出展ギャラリーの様子

全27軒が出展。前述の通り、各フロア、ギャラリーの個性が融合したスペシャルな空間となりました。特に、サイギャラリー(大阪)、GALLERY 麟(東京)、小出由紀子事務所(東京)、ギャラリーノマル(大阪)、ギャラリーヤマグチ クンストバウ(大阪)が出展した1階では、ミニマルな作品を中心に個性が融合しながらも、調和がとれた美しい展示空間となりました。



1階の展示風景：左から ギャラリーノマル、サイギャラリー



GALLERY 麟 展示の様子



小出由紀子事務所 展示の様子

また、2階で一際目を引いたのはTEZUKAYAMA GALLERY(大阪)。タムラサトルと加藤智大の二人展で、いずれも鉄や金属を素材とする共通点がありながら、前者はキネティックな作品、後者は平面や彫刻作品と、壁面や床面を縦横無尽に用いながら、独自の世界観を創出していました。



TEZUKAYAMA GALLERY 展示の様子



加藤智大作品

4階のCOHJU contemporary artでは、大和美緒の新作「BREATH」をお披露目。キャンバスに不均一な赤いドットがリズミカルに描かれている本作は、美しくもあり、どこか儚さを感じさせ、来場者を魅了しました。



大和美緒作品



COHJU contemporary art 展示の様子 / 大和美緒

5階では、FINCH ARTS(京都)が西太志を個展形式で紹介。ブースの袖壁の代わりに巨大な平面作品を設置し、来場者にインパクト与えながら、小品の立体作品を並列して展示することで、西の物語のワンシーンに迷い込んだかのような心地よい感覚にさせてくれました。



FINCH ARTS 展示の様子 / 西太志 作品



FINCH ARTS 展示の様子 / 西太志 作品

以上はごく一部の紹介ですが、各出展ギャラリーの様子はオンラインビューイングサイト「360 art room」(<https://360artroom.net/exhibition/140/>)からもご覧頂けますので、ぜひ覗いてみてください。

売上について

作品売上に関しては、約2700万円を記録。総売上点数は約175点、作品の平均単価は近年のART OSAKAの中で最も高い約16万円となりました。外出自粛でステイホーム時間が増えこともあり、アートを購入しご自宅で楽しまれる方が増えたことが上昇の要因と推測されます。出展者からも「会場全体を見ても10万以上の作品も例年より多く動いている印象」、「作品購入意欲の高い方々が多かった様に思う」等の声がありました。また、会場では比較的若いコレクター予備軍の方の来場も見られ、新たな層によるアート購入への期待が感じられました。

最後に

新型コロナウイルスのワクチン接種の目処が見えて参りましたが、依然として不透明な状況が続いています。そのような状況下であっても、であればこそ、リアルなアートフェアを求める声が、出展者や来場者の皆様から多数頂き、今回無事に開催できたことは貴重な経験のひとつとなりました。弊社としては、オンラインにも重点を置きながらも、リアルアートフェアの新たな可能性を今後も探って参る所存です。末筆になりますが、「ART OSAKA WALL by APCA」にご来場頂きました皆様、また開催にあたりご支援下さいました関係企業・団体の皆様に心よりお礼申し上げます。

ART OSAKA WALL by APCA 出展ギャラリー

[大阪]TEZUKAYAMA GALLERY、YOD Gallery、KAZE ART PLANNING、DMOARTS、カペイシャス、TRI-FOLD OSAKA、studio J、ギャラリーヤマグチ クンストバウ、ギャラリーノマル、サイギャラリー
[京都]アートゾーン神楽岡、芦屋画廊kyoto、COHJU contemporary art、MORI YU GALLERY、GALLERY TOMO、FINCH ARTS

[愛知]AIN SOPH DISPATCH、LAD GALLERY

[東京]GALLERY 麟、小出由紀子事務所、FUMA Contemporary Tokyo | 文京アート、KOKI ARTS、eitoeiko、GALLERY KOGURE、メグミオギタギャラリー、Gallery OUT of PLACE

[石川]モトヤマイケウチ

協賛・協力

株式会社インターオフィス、株式会社ダイム、有限会社ザ・グローブ、イープラス、FM802、FM COCOLO、UNKNOWN ASIA、Art Scenes(アートシーンス)

公式ウェブサイト：<https://wall.artosaka.jp>

Art Scenes(アートワークページ)：<https://art-scenes.net/ja/fairs/19>

inter.office

DAIMU Co., Ltd.

the globe co.,ltd



FM802
meet the music on the radio

FM COCOLO
WHOLE EARTH STATION

UNKNOWN/ASIA



主催：一般社団法人日本現代美術振興協会(APCA)

代表理事：森裕一(MORI YU GALLERY)

副代表理事：井上佳昭(Yoshiaki Inoue Gallery)

理事：林聡(ギャラリーノマル)

石田克哉(MEM)

加藤義夫(加藤義夫芸術計画室)

八木光恵(アートコートギャラリー)

山口 孝(ギャラリーヤマグチクンストバウ)

顧問：細川佳洋子(ギャラリーほそかわ)

監事：松尾良一(TEZUKAYAMA GALLERY)

APCA事務局：フェアマネージャー / 山岸青葉、川西遥

写真撮影：麥生田兵吾

問い合わせ

一般社団法人日本現代美術振興協会 APCA事務局 担当：山岸、川西

542-0062 大阪市中央区上本町西4-1-68 T. 06-7506-9347 / E. info@artosaka.jp